



安行小だより

安行小学校4月号
令和5年4月10日

目指す学校像

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校（個の伸長 公の育成）
～伝統と地域と共に励みて進む安行小150年～

「學」の意味をかみしめて

校長 春川 嘉孝

安行小学校の大地にしっかりと根をおろした「大ケヤキ」が葉を膨らませながら、春を告げています。安行小学校の令和五年度がスタートします。本年度の一年間の始まりに思いを巡らせながら、感じる緊張感と期待感は気持ちのよいものです。

150年目を迎えるこの年、学校・家庭・地域がこれまで同様に、力を合わせ盛大にその歴史を感じながらお祝いしたいものです。

児童数は、908名。学級数は32学級となります。学校では、子供たちの気持ちをしっかり受け止めながら、粘り強く、心豊かに、たくましく成長できるよう、教育目標を以下のように設定します。

「まじめな子 あかるい子 がんばる子」の校訓のもと「よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校」を実現し、個（個人）の伸長と公（公共・社会・地域愛）の育成に向けて日々の指導を積み上げてまいります。教育の原点である「知徳体」のバランスのとれた人間を育てることは、昔から言われてきたことです。教育の原点を保護者・地域の皆様と共に見つめなおし、調和のとれた児童の育成に努めてまいります。安行小の子は「自分のよさを理解し、粘り強くチャレンジできる」「笑顔と共に仲間を思いやり、地域に目を向けることができる」「力を合わせる楽しさを体験を伴って実感できる」そんな子供たちに力を合わせて育てていきましょう。令和五年度も、学校教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

校歌

作詞 白鳥 省吾
作曲 中田 喜直

緑のくすに 朝日さす
学びの窓の 輝いて
豊かな丘に 望み見る
東に筑波 西に富士
安行小学校 よいところ

草木は萌えて 花咲ける
自然の心 素直にて
励みて進む 学業を
からだを鍛えて 伸びていく
安行小学校 わが希望

世界に開く 大空の
心も広く 朗らかに
大地を踏んで 仲よくて
力を合わす 楽しさよ
安行小学校 誉あれ

安行小学校の校歌は、昭和40年秋頃より、PTA役員の間から校歌制定が計画された。昭和41年3月、小学校において盛大に発表会を行い制定した。※100年記念誌より

校歌の中には、環境に恵まれた学校であること、その豊かな自然の中で人として大きく育ち、伸びていけるように、そして、この安行小で育った子供たちは、世界という大きな空に向けて、しっかり地に足をつけ、力を合わせていける。安行小で育ったことを誇りにしなさい。と伝えている感じがします。そして、校歌制定を保護者・地域の方が望んでいたという「安行は一つ」の思いを実感します。